

# 炭化炉概要



## 炭化とは

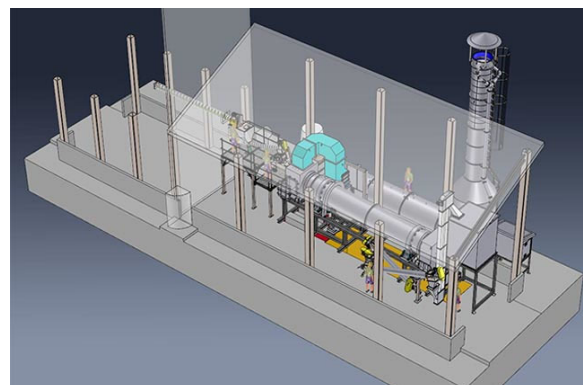
- 「炭化」とは有機物を熱によって「炭」に分解することです。
- 「炭化」は燃焼処理と比べて二酸化炭素の排出量を削減できる、地球環境に配慮した処理方法です。
- 「炭化」した処理物の重量は元の重量と比べて1/3～1/4程度に削減できます。
- 「炭化」処理された処理物、は肥料や燃料などの有機性の資源として再利用することができます。



- **堆肥利用**
- **土壌改良**
- **資材化**
- **エネルギー化**

## 連続式炭化装置について

- 短時間で大容量の廃棄物を連続して処理することができ、高含水率の原料も炭化可能。
- 有機物を燃焼させないため、灰の発生が少なく炭化収率が高い。
- 排ガスは非常に少なくダイオキシンの発生もほとんどなくクリーンガスとして大気に放出。廃熱利用も可能。
- 熱源は**乾留ガス燃焼式**と**電気ヒーター式**の2種類をラインナップ。



## 乾留ガス燃焼式炭化炉

### 乾留ガス燃焼式炭化炉

炭化時に発生する乾留ガスを熱源としているため、使用される化石燃料は機械の立ち上げ時のみです。また間接加熱のため立ち上げ時間が短いのが特徴です。

加熱温度は、炭化品の用途により自由に温度設定が可能です。

型式	外形寸法 (mm)			総電力 (kW)	消費燃料 (ℓ/h)	処理能力 (kg/h)
	L	W	H			
BMT-100	5,300	3,800	3,200	5.5	4.5 (立上時のみ)	100
BMT-200	7,400	4,100	3,600	8.3	8.5	200
BMT-500	10,800	8,700	4,200	20.0	21.0	500
BMT-1000	13,200	10,400	5,300	37.0	41.5	1,000
BMT-1500	15,600	11,500	6,500	62.5	62.0	2,000

## 電気ヒーター式炭化炉

### 電気ヒーター式炭化炉

電気ヒーターによる加熱のため、完全自動運転が可能です。また、温度設定が時間単位で設定が可能です。

有機物の少ない原料を処理する場合や、乾留ガスを発電などに利用したい場合等の用途に利用可能です。

型式	外形寸法 (mm)			総電力 (kW)	消費燃料 (ℓ/h)	処理能力 (kg/h)
	L	W	H			
YDD-100	5,100	1,950	4,500	67.0	立上時、 原料が高含水 時に使用	100
YDD-200	6,200	2,200	4,800	93.0		200
YDD-500	7,020	2,920	6,100	120.0		500
YDD-1000	8,600	3,500	6,800	220.0		1,000
YDD-1500	10,200	4,200	8,200	410.0		2,000

## 事例紹介



①和菓子メーカー様

炭化物用途	土壌改良剤、肥料
処理対象物	①脱水汚泥 ②製品残渣
処理量	①20kg/h ②50kg/回



②養鶏場

処理方法	炭化
処理対象物	乾燥鶏糞
処理量	1000kg/h



③某農業組合 様その1

処理方法	①乾燥、②炭化
処理対象物	レタス残渣
処理量	①625kg/h ②49kg/回



④某農業組合 様その2

処理方法	処理方法
処理対象物	処理対象物
処理量	100kg/h